

【小説要旨】：

- ・原作との整合性はある程度無視した完全番外編
- ・コンセプトとしては、主人公達が動き出す異変が生じる段階の出来事(作品導入部の敵の活動描写のイメージ)と最後に敵が倒された場面
- ・シチュ属性としては、ヒロピン ・MC(悪堕ち)
- ・デュエル描写は出だしから完全に入れるのではなく省略気味または完全省略で大丈夫です(優勢劣勢・切り札発動・勝敗など部分部分のみ描写のイメージ)

【主な登場キャラ】

- ・柊柚子
- ・セレナ
- ・口紅歌姫、悪魔聖歌隊（半オリ敵キャラ、末尾に資料あり）

【サブキャラ】

- ・黒咲瑠璃
- ・リン
- ・天上院明日香
- ・光津真澄
- ・方中ミエル
- ・ドクトル
- ・榊遊矢

【舞台設定（※小説内で描写不要）】

- ・敵キャラの口紅歌姫は、カードに封印されていた謎の存在。作中世界で女性デュエリストを襲い、自身の手先に変えようとしている。
- ・時系列ではエクシーズ次元&融合次元編で、柚子・セレナ・瑠璃・リンの柚子シリーズ全員が融合次元に連れ去られた際のイメージ
- ・舞台は基本的に融合次元のアカデミア内

【小説本編プロット】

- ・シンクロ次元からセレナや柚子が融合次元へと連れ去られるより前、アカデミアのドクトルはいつの間にか融合次元に漂着した謎のモンスターカード（口紅歌姫）の研究を進めていた。
- ・カードの研究を終えたら既にさらっていた瑠璃とリン（研究室内で施術用の機器に拘束されている）に本編同様パラサイト・フュージョナーを植えつけ洗脳する手はずであったが、不用意にカードを分析にかけたことで封じられていた口紅歌姫が復活する。
- ・驚くドクトルを尻目に、男に関心のない口紅歌姫はドクトルをカード化し始末してしま

う。

・その光景を驚き悲鳴を上げた瑠璃とリンに気付き、拘束された二人を値定めするように眺めつつ近寄る口紅歌姫。手に紫の悪魔のルージュを出現させ、二人を「お化粧」すると告げる。

・必死に首を振って逃れようとする二人に口紅歌姫はルージュを無理やり塗り付ける。

・不気味なルージュに戸惑う瑠璃とリン、やがて洗脳が進み気を失ってしまう。気を失った二人に紫のアイシャドウが浮かび上がり悪魔聖歌隊へと変わりつつある様子を見て高笑いを挙げる口紅歌姫

(場面転換)

・シンクロ次元から拉致されたセレナがドクトルの研究室に連れてこられる。

・口紅歌姫は姿を隠しつつ声色を偽装しドクトルのふりをし、セレナを連れてきたアカデミアの兵士たちを下がらせる。

・内心不安を隠しつつ、ドクトルに屈しないと啖呵を切るセレナ。そこに、不気味な口紅歌姫の高笑いと共に手品のように悪魔聖歌隊のモンスターカード 2 枚がセレナの前に飛んでくる。カードに描かれているのは、不気味な紫の化粧を施され、必死に歌っている様子の瑠璃・リン

・カードから実体化するように出現する悪魔聖歌隊と化した瑠璃とリン。生気のない自分そっくりな顔をもつ 2 人の不気味な紫のメイクに気圧されるセレナ。

・その背後から突如口紅歌姫が表れ、セレナを後ろから捕らえる。セレナにも悪魔聖歌隊となってもらおうと告げる口紅歌姫。当然抵抗し、激しく暴れるセレナ。

・セレナが暴れてルージュを塗れない口紅歌姫はいらだち、悪魔聖歌隊の 2 人に歌うよう命じる。

・腕を組み、祈るようなポーズで歌う瑠璃たち悪魔聖歌隊。セレナは逃れようとしつつ最初は戸惑うが、やがて悪魔のソプラノによって耳を塞いでも逃れられない苦痛に苦しめられる。

・そこにルージュを塗り付ける口紅歌姫。セレナは唇を擦ってメイクを落とそうとするが、やがて体の自由が利かなくなり、意思に反して瑠璃・リンと並んでソプラノの合唱を始めてしまう。

・最初は激しく嫌がっていたセレナの精神だが、やがてソプラノ合唱に快樂さえ感じるようになり陶醉する。洗脳が完了し、セレナの顔にルージュに加え紫のアイシャドウが浮かび上がる。

・口紅歌姫に聖歌隊の証のカチューシャを付けられ、忠誠を誓うセレナ

(場面転換)

・ドクトルの研究成果や洗脳したセレナたちから聞き出した情報をもとに、柚子の存在を

知る口紅歌姫。融合次元へ飛ばされた柚子の搜索をセレナたちに命じる。

- ・そのころ、柚子はユーリやアカデミアの兵士たちの追跡からかろうじて身を隠していた。
- ・逃げ続けるうちにアカデミアの中でセレナを目撃する。人気のない部屋に入っていくセレナに助けを求めようと追いかける柚子
- ・部屋の中は音楽教室の様な装飾で、セレナや瑠璃、リンや悪魔聖歌隊に変えられたアカデミアの女戦士たち（明日香やタイラー姉妹など）が合唱の練習をしている。
- ・柚子が部屋に入っても気にかけず背を向けて合唱を続けるセレナたち。戸惑いながらも柚子は合唱隊の最後列にいたセレナに状況を聞こうと肩に手をかける。
- ・無言でセレナが振り返ると、その顔は不気味な紫の化粧が施されていた。
- ・その化粧と虚ろな表情で立ち尽くすセレナの様子に戸惑う柚子だが、セレナは柚子の呼びかけにも意を介さず淡々と口紅歌姫に柚子をおびき寄せることができたと報告するように告げる。
- ・柚子が背後に気配を感じて振り返ると、そこには口紅歌姫と瑠璃やリンが並んでいた。
- ・決闘に負けたら柚子もセレナたちと同じく悪魔聖歌隊に入ってもらおうと告げる口紅歌姫
- ・柚子もそれに応じ、口紅歌姫と決闘する。最初は柚子が攻め立て、口紅歌姫は足止めを多用し手札をただ肥やす戦法を取る。
- ・手札をそろえた口紅歌姫は攻勢に転じ、場に天上院明日香を悪魔聖歌隊モンスターとして場に召喚する。実際の人間をカードで召喚したことに驚く柚子、しかし、普段の感覚で明日香を倒してしまう。すると明日香は悲鳴を上げ傷ついてしまう。洗脳された人間が戦闘でダメージを追うことを知り、手が出せなくなる柚子。
- ・さらに口紅歌姫は通常モンスターの特殊召喚サポートで悪魔聖歌隊を一気に呼び出す。
- ・そして魔法カードによって悪魔聖歌隊を合唱させ、柚子の盤面を破壊するとともに柚子自身にも苦痛を与える。
- ・追い打ちをかけるように、口紅歌姫はこうした悪魔聖歌隊モンスターのカードはいくらでもあるとして、破り捨てたらどうなるか、手札からセレナのカードを柚子に見せつけ、セレナたちの生命を握っていると柚子に告げ人質としてしまう。手出しできないことをいいことに自身もモンスターとして召喚し総攻撃をかけ、柚子は敗れてしまう。
- ・柚子もルージュを塗られ、セレナと共に悪魔聖歌隊として口紅歌姫へ忠誠を誓いカードに封じられる。
- ・手元の 4 枚のカードで必死に歌う様子が描かれている柚子シリーズたちの悪魔聖歌隊モンスターカードを眺め高笑いする口紅歌姫

（場面転換、ARC-V スタンダード次元）

- ・融合次元の次元移動装置を奪い、融合次元以外からも悪魔聖歌隊の獲得を始めた口紅歌姫。スタンダード次元では真澄とミエルが襲われていた。おびえる二人に柚子を召喚する口紅歌姫。

・うっとりとした様子で二人に悪魔聖歌隊になるよう告げる柚子。悪魔のソプラノを歌い、二人を苦しめる。真澄が正気に戻るよう呼び掛けるも、もっと苦しみなさいと喜んで歌を浴びせ続ける柚子

・悪魔聖歌隊に変えられた真澄とミエル、また他の柚子シリーズらと共に化粧直しやソプラノ合唱の訓練を続ける柚子。洗脳の影響で当たり前のように人間を苦しめる聖歌やデュエルの戦術についてお互い指摘し合い、訓練に熱中する。

・その後、あちこちの次元で破壊活動続ける悪魔聖歌隊。柚子は人間を苦しめる悪魔のソプラノの響きに陶醉する。セレナは洗脳で植えつけられた忠誠心から真剣に人間を苦しめることへの義務感にかられ、逃げる人々を狩りたて、追いつめる。瑠璃は苦しむ人間の様子に歪んだ快感を感じ、もっと苦しむようにと笑顔でソプラノを浴びせる。リンはおびえる捕らえた女決闘者に悪魔聖歌隊となることへの喜びを語りつつ洗脳用のルージュを塗り付ける。

(場面転換：エピソード)

※口紅歌姫は主人公たちに敗れ去る(描写不要)

・口紅歌姫が倒された影響で気絶し倒れている柚子やセレナたち。やがて洗脳が解けルージュとアイシャドウが消え失せていき、カチューシャも頭から外れ消滅する。

・シンクロ次元で離れ離れになった柚子と再会できた遊矢は慌てて抱え起こそうとする。

・目を覚ますと口紅歌姫に襲われた事や操られている間の記憶が無くなっている柚子は、何があったのか戸惑うが、急に抱き着いてきた(柚子視点)遊矢に照れつつも何のつもりかとハリセンで一撃をいれてしまう。

以上プロットとなります

【半オリキャラ資料】

1:口紅歌姫(くちべにうたひめ)

原作:五星戦隊ダイレンジャー

戦隊怪人の1体。その名の通り、口紅を模した頭部と肩部分が特徴的な女性怪人女性に「お化粧」と称して特殊な紫色のルージュ「悪魔のルージュ」を塗りつけることで意のままに操る能力を持つ。悪魔のルージュを塗って洗脳した女性たちで結成した「悪魔聖歌隊」の合唱で人間たちに地獄の痛みを与える作戦を指揮する。

一人称が「私(わたくし)」、「オーホッホッホ」と高笑いするような女王様口調

「歌唱拳」という武術を用い、唇を模した青龍刀を使った剣術や、自身の声を苦痛音波や音符上の破壊光線に変えて戦う。必殺技は、当たると爆発する音符上の光線を大量に撃ち出す「歌唱拳・歌姫爆裂破」

口調参考（原作台詞一部）

「お化粧～」

「出てらっしゃい！私の悪魔聖歌隊！」

「歌うのよ！こいつらが苦しみ抜いて死ぬまで歌い続けるのよ！」

「よくもよくも…！私のスベスベで最高に美しい顔に傷を…！」

「これがお前のフィナーレよ！」

「その素顔にどんな傷を付けて欲しい？可愛い顔もギタギタよ！」

参照 URL

<https://cavaba.hatenablog.com/entry/2019/05/05/151351>

今回の小説では、口紅歌姫は上記基本要素に加え以下のような立場

- ・女性を「悪魔聖歌隊」に変え、モンスターカードとして使役する
- ・女性を化粧で悪魔聖歌隊モンスターに変えていくことで自身の力も増していく。
- ・デュエルの腕前は一級デュエリストに劣る。高慢な性格にも関わらず、洗脳した女性を盾にするような卑劣・初見殺しで勝つタイプ
- ・女性に「お化粧」として紫のルージュを塗り付け、カードカテゴリ<悪魔聖歌隊>のモンスターに変えてしまう。悪魔聖歌隊関連や自身のカード以外は、デッキテーマを読ませないようカテゴリがバラバラの時間稼ぎ用の罠や魔法を使う

【外見】



2:悪魔聖歌隊（あくませいかたい）

口紅歌姫に洗脳された女性たち。洗脳が完了した証として、唇の形が浮き立つほど濃い紫色のルージュに加え、目尻から鼻先まで紋様のように伸びまた眉下からまぶた全体を覆う紫のアイシャドウを施されている。頭には白いリボンカチューシャをつけている
操られるままに聴くものを苦しめる殺人超音波のソプラノを歌う。（※原作ではシンセサイザー音を加工した SE を歌声として使用）

洗脳は強固で、原作では友人の説得や思い出の品を見せられても全くひるまなかった。

今回の小説の悪魔聖歌隊は、上記基本要素に加え以下のような存在にする

- ・口紅歌姫に捕らえられた女性デュエリストが洗脳で変えられてしまったもの、洗脳完了時にモンスターカードが生成される。アカデミアのカード化と異なり、本人が本当にカード内に封印されるイメージ
- ・紫のルージュを塗られて気絶した後、洗脳完了の証としてアイシャドウやカチューシャなどが現れる
- ・普段は口紅歌姫の側に控えて悪事の手助け(ターゲットとなる女性の拉致など)をするほか、デュエル中に召喚されればそのままデュエルフィールド上にワープして口紅歌姫の指示のまま行動する
- ・カードとしての名称は「悪魔聖歌隊・〇〇(キャラの名前)」、能力は低め
- ・決闘で使用する悪魔聖歌隊モンスターカードとしては、作中で操られたキャラの他に、タイラー姉妹など ARC-V で登場する女性キャラを入れて頂いても構いません。
- ・悪魔聖歌隊モンスターへの攻撃は洗脳された人間にそのままダメージが入るため、相手によっては人質としても機能する※死ぬ程ではないが痛みで気絶するイメージ
- ・モンスターとしての効果またはカテゴリの魔法・罠カードによって、悪魔のソプラノ聖歌を歌う事での相手カードの破壊や相手プレイヤーのライフへのダメージなどを与える。半ば反則だがソプラノは苦痛音波となって相手のデュエリスト自身も苦痛で苦しめる
- ・悪魔聖歌隊が増えれば増えるほど、合唱により能力や効果が強化される。口紅歌姫もそれを見越して悪魔聖歌隊の増員とデュエル中での大量召喚用の魔法や罠カードを揃えている
- ・魔法や罠などの補助カードについては、名称は「悪魔聖歌～」など適当な名称(音楽用語など)または名称省略でも大丈夫です

【原作外見（メイク・カチューシャ）】



【二次メイク・カチューシャイメージ】

